

Q 管理職として、大事にしなければならないこと、心がけなければならないことを教えてください。

A 様々な事態に対応できる管理職であるためには、常に職員の和を心がけ、職員の自主性の伸長を図り、一丸となった取組ができる集団づくりが大切です。職員が心を通わせることを柱に据えた、取り組みやすい提案をします。

荒れていた中学校の担任をしていた時期に、「生徒と生徒」「生徒と教師」、時には「生徒と保護者と教師」を結ぶ「グループ（班）ノート」に力を入れ、生の声を出させることに努めました。その結果、学級の和と生徒の自主性伸長に著しい成果を上げることができました。この取組により、学校全体をリードする力をもつまでに生徒が力強く育ってくれたことを思い出し、管理職から職員へのプラス面の思いを伝える工夫をしました。

職員誕生日カード

「お誕生日おめでとうございます。A先生の積極的な動きに心から喜びを感じています。誕生日に当たり、学校活性化への努力に改めてお礼を申し添えます。特に、A先生の新学期の学級づくりはお見事でした。学年全体にもよいお手本になりました。学期が変わってからのB君の変容も、さすがA先生らしい指導が生きています。今後も、学校全体の活性化に活躍されることを期待しています。また、管理職への要望など聞かせてください。」など、一人一人の職員とのコミュニケーションを図ることに心を配るよう努めました。

お礼伝言

「今日は、全校が生き生きしていました。先生方の力を合わせた指導に心から感謝します。互いにプラス面の評価をし合って、生徒に負けないよう私たちも生き生き活動していきましょう。」「今日の給食の後始末について、調理員の方々からお礼の言葉がありました。先生方の細かな御指導のおかげです。今日も心からの感謝です。」（職員室用）、「今日は、PTA役員の出入りが多く、何かと御苦労をかけました。事務室の細やかな心遣いに、役員の方の評価も大でした。改めて、お疲れさま。」

「今日は、役所からの急な書類作成指示に、速やかに対処していただきました。いつもながら、事務室の力を感じています。今日も心からの感謝です。」（事務室用）など、職員室や事務室がほぼ引き上げた頃を見計らい行事板の隅に張り付けました。あえて明るる日に目にしてもらうことで、職員の意識高揚を願いました。個々の顕著な活動を見聞きした場合は、評価と謝意をメモして机上に裏向きに貼りました。

一人一人の職員の高さを見つける目をもつ管理職でありたいと真剣でした。言葉での伝達が必要なことは言うまでもありませんが、意思疎通をより確かなものにするのに効果は大でした。職員には、「がんばれ」より「がんばっている」ことの認識を大事にしてきました。行き当たりばったりのOJT、説教ばかりの対応、定量的に実績しか見ない評価や従来型の人材育成では、現状を打破することができないと思います。

校種

全校種